

北見工業大学 国際交流センター ニュースレター

日本語版
第99巻
2014年6・7月



〈目次〉

● 留学生歓迎会

● 野草観察会

● 大学祭

● 韓国慶尚大学校
短期交流研修

● 北見ぼんちまつり

● 短期留学生修了式

● Cアワー

● 今後の予定

留学生歓迎会 6月2日(月)

ようこそ、北見工大へ！

気温三十度近い雲一つない晴天の下、今年四月に入学した二十六名の仲間を迎えて、留学生歓迎会が開催された。当日は、留学生やチューター、教職員など計百三十七名が集い、盛大に行われた。会の冒頭、高橋学長より新しく入学した留学生に対し、「自分たちで健康を十分管理しながら、実りある北見の生活を楽しんでいただきたい」とご挨拶を頂戴した。その後、学長の乾杯の挨拶で歓迎会が始まった。前期の歓迎会は、北海道らしく、屋外でのジンギスカンが定番である。肉食系の学生たちは、一気に肉や野菜を焼いて、北海道の味覚を味わっていた。途中、新入生による自己紹介の他、留学生や日本人学生によるパフォーマンスも披露され、場の雰囲気盛り上げてくれた。また、国際交流センターに新たに配属された田中事務職員も大学時代に培った三味線でりんご節を披露してくれた。今年、多くの多才な人に恵まれたこともあり、一味違った歓迎会を開催することができた。新入生の留学生達も、参加者と共に楽しい一時を過ごしていたようである。



野草観察会 6月13日(金)

美幌みどりの村で自然と触れ合う



今年も山岸先生と行く野草観察会が美幌みどりの村で行われた。この観察会には、留学生二十八名が参加し、この日だけは、研究や勉強を休んでの参加となった。観察会場へ向かうバスの中では、山岸先生より、日本及び世界の食料自給率や美幌の林業等についてのお話があり、食や自然についての知識を深めた。しかし、当日はあいにくの雨で、午前中に予定していた屋外での野草観察はキャンセルとなった。その代替として、同施設内にある美幌博物館にて、美幌の歴史や自然に関する展示を見学した。

学生たちは、初めて見るアイヌ民族の住居のジオラマや、水辺の様々な動植物の模型に、目を輝かせて見入っていた。その後昼食をとり、しばらくすると雨も止んだため、午後からみどりの村森林公園内を散策しながら、野草観察を行った。解説を聞きながら、普段、あまり気にせず見過ごしてきた植物を再認識し、新たな視点で見つめ直すことができるようになった。

今回も国際ソロプチミスト北見様より留学生支援事業として本野草観察会にご寄附を賜ったことにつき、感謝申し上げる次第である。

大学祭 6月21日(土) 22日(日)

お茶会

今年も北見藤女子高等学校茶道部のご協力を得て、国際交流お茶会を開催することができた。当日は百名を超す方々にお越しいただき、茶道の世界を堪能していただいた。留学生の中には、初めて茶道を体験する学生もおり、緊張した面持

ちで茶の湯の世界に浸っていた。日本文化の代表的なものの一つである「茶道」は、禅宗と深いかわりがあり、また、千利休は茶道の心得を、「四規七則」と説いている。茶道は、長い歴史の中で、日本人の精神の根本を形作ってきたともいえる。



生け花



国際交流センターでは、大学祭に併せて留学生を対象に生け花教室を開催した。最初に先生の実演によるお手本を全員で観察し、お花は正面からの見栄えを大事にする等、生け花の基本を教えていただいた。その後、好きな花のセットを選んで生け花開始。各自思い思いに花を生け、唯一無二の作品が完成した。最優秀賞には、馬嘉優さん(中国)の作品が選ばれ、馬さんは、「小さくてきれいな花を元気な感じで生けることができました。評価されてうれしい。」と話していた。

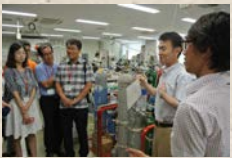
着物体験

大学祭二日目となったこの日は、着物体験が実施され、留学生十三名が着物に袖を通した。体験者のほぼ全員が生まれて初めて着物を着たこともあり、留学生の間から、歓声と感動の音が上がっていた。その後、留学生達は、お茶会に参加したり、学内外で友人達と記念撮影を行うなど、普段とは異なる自分を楽しんでいたようである。チェソジョンさん(韓国)は、「帯の締めつけがきつかったり、歩きにくくて大変だったが、皆にきれいだといわれ、うれしかった。」と話していた。



韓国・慶尚大学短期交流研修

7月17日(木) ~24日(木)



二年ぶりに韓国・慶尚大学工科大学(キム学長)の短期交流研修団が来学し、一週間の研修が行われた。研修期間中、学内での施設見学や日本語等の講義の他、ホームステイや研修旅行も行われた。学生たちは、毎日新しい環境の中、積極的に日本人学生や地域の方々とのコミュニケーションを図ろうと努力していた。今回参加者の大部分が日本語が話せなかったものの、英語を介して意思疎通を行っていた。はじめは日本人学生も接し方から戸惑う場面も見られたが、お酒を交えての交流が始まると、一気にその距離が縮んでいった。韓国では、焼酎をビールで割って作る「爆弾酒(ポクタンジユ)」が定番のようで、それを「コンベ(乾杯)」で飲み干す習慣があった。何倍も飲み続けると酔いが回るため、飲めない人によっては要注意の習慣であるが、今回は、皆楽しくお酒を嗜み、その後ゲームや歌、ダンスなどをして盛り上がりがあった。また、教職員同士も研修期間中、引率や食事会を通して、教育や社会全般について有意義な意見交換もできた。日本と韓国は政治的には膠着状態が続いているものの、今回のような人的交流は、両国にとって非常に重要な意味があると思う。同世代同士が互いに理解し、友好関係が築かれることが、これからの日韓の新しい関係を構築する上で、重要になってくるのではないだろうか。



北見ぼんちまつり 7月18日(金)

第61回北見ぼんちまつりが今年もやってきた。初日の舞踊パレードには、本学から学生や教職員、韓国の姉妹大学の訪問団も参加し、行われた。開始前までは雨が降っていたものの、パレードが始まる頃には雨も止み、すがすがしい中でのパレードとなった。パレードでは、サンバ風に編曲した北見ばやしに合わせ、皆軽快に踊っ

ていた。留学生や韓国からの訪問団も浴衣を着た段階から興奮気味で、自国では味わえない夏のひと時を満喫していた。沿道からも大きな歓声が上がリ、地域の方々の一体感が生まれた、素晴らしい舞踊パレードになった。また、一年後ここで集うことを約束し、解散となった。



短期留学生修了式 7月30日(水)



今年度前期は、10名の短期留学生が無事に留学を修了し、許斐国際交流センター長より修了証書の授与が行われた。登壇した学生たちは、はじめ緊張した面持ちであったが、修了証書を授与してからは、表情が緩み、にこやかに微笑んでいた。その後、各大学から一名代表スピーチを行い、留学

の感想を披露してくれた。王麒鈞さん(台湾)は、多くの友達に恵まれ、留学できたことが本当にうれしかったと述べていた。半年或いは一年間の留学生活が終わり、もうじき帰国の途に就く学生が出てくる。彼らには北見工大で培った様々な経験を今後の生活に生かしてほしいと願っている。

ポーランド留学経験談(6月)

福田尊さん(バイオ環境化学科4年)はポーランドで5ヶ月間留学を行った。大学では、慣れないプレゼンテーションも頑張っており、単位を取得し、帰国した。多くの友人にも恵まれ、充実した留学生活を送ることができたと話していた。帰国後は、来日した友人を京都へ連れて行き、観光案内を行ったそうである。



流しそうめん(7月)

気温20度と7月にしては肌寒い中、流しそうめんが行われた。この日は、多くの親子連れも参加し、賑やかに開催された。皆、流れてくるそうめんを待ち続け、来た瞬間ですくい、ススッとすすっては、一気に喉の奥まで流し込んでいた。今年も一同に夏の涼味を楽しんでいただき、思い出に残る一瞬となった。



今後の予定

- 7月31日(木)~8月7日(木) 前期定期試験
- 8月8日(金)~9月23日(火) 夏季休業日
- 8月10日(日)~12日(火) Youth of World 2014 夏(国立大雪青少年交流の家)
- 8月8日(金)~31日(日) 夏期語学研修(ドイツ・フライブルク)
- 8月23日(土)~9月28日(日) 夏期語学研修(オーストラリア・ブリスベン)
- 8月28日(木)~9月13日(土) 英語研修旅行(オーストラリア・シドニー)

発行所：北見工業大学国際交流センター

住所：北見市公園町165

電話：(0157) 26-9370

FAX：(0157) 26-9373

E-mail：kenkyu05@desk.kitami-it.ac.jp



北見工業大学